平成24年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月5日

上場会社名　株式会社 ホテル、ニューグランド　　上場取引所　大
コード番号　9720　URL　http://www.hotel-newgrand.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長 兼 社長　(氏名) 原　範行
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 岸　晴記　TEL 045-681-1841

四半期報告書提出予定日　平成24年7月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第2四半期の業績(平成23年12月1日～平成24年5月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第2四半期	2,693	20.6	128	―	128	―	83	―
23年11月期第2四半期	2,234	△16.3	△131	―	△131	―	△89	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第2四半期	14.29	―
23年11月期第2四半期	△15.41	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第2四半期	11,032	8,038	72.9	1,383.90
23年11月期	11,156	7,964	71.4	1,370.87

(参考) 自己資本　24年11月期第2四半期　8,038百万円　23年11月期　7,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	―	0.00	―	5.00	5.00
24年11月期	―	0.00			
24年11月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年11月期の業績予想(平成23年12月 1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	7.1	51	―	50	―	25	―	4.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期2Q	5,856,400 株	23年11月期	5,856,400 株
② 期末自己株式数	24年11月期2Q	47,608 株	23年11月期	46,333 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期2Q	5,809,583 株	23年11月期2Q	5,811,811 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ２
（１）経営成績に関する定性的情報 …… ２
（２）財政状態に関する定性的情報 …… ２
（３）業績予想に関する定性的情報 …… ３
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… ４
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… ４
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ４
（３）追加情報 …… ４
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… ４
４．四半期財務諸表 …… ５
（１）四半期貸借対照表 …… ５
（２）四半期損益計算書 …… ７
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… ８
（４）継続企業の前提に関する注記 …… ９
（５）セグメント情報等 …… ９
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… ９
（７）重要な後発事象 …… ９

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による景気停滞から、復興需要により回復の兆しが見えてきたものの、欧州の財政危機による世界経済の減速や円高の長期化などにより、所得環境及び雇用情勢は引続き厳しい状況で推移し、先行きは未だ不透明な状況であります。

このような状況のもと、当第２四半期累計期間の売上高は、2,693,910千円（前年同四半期比20.6％増）となりました。

販売費及び一般管理費は1,673,126千円（前年同四半期比3.6％増）となり、営業利益は128,188千円（前年同四半期は131,749千円の営業損失）、経常利益は128,675千円（前年同四半期は131,210千円の経常損失）となりました。

この結果、第２四半期累計期間の四半期純利益は83,042千円（前年同四半期は89,550千円の四半期純損失）となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第４四半期に宴会（婚礼）需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

（ホテル事業）

ホテル事業の第２四半期累計期間の業績は、売上高2,668,388千円、営業利益118,191千円となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門551,848千円（前年同四半期比26.6％増）、レストラン部門719,714千円（前年同四半期比22.0％増）、宴会部門1,182,609千円（前年同四半期比20.3％増）となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業の第２四半期累計期間の業績は、売上高25,522千円、営業利益9,997千円となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の分析

（資産）

資産合計は11,032,981千円（前事業年度末比123,911千円減）となりました。

主な要因は現金及び預金118,748千円の増加や、売掛金25,788千円の減少、有形固定資産186,939千円の減少などであります。

（負債）

負債合計は2,994,186千円（前事業年度末比197,864千円減）となりました。

主な要因は短期借入金200,000千円の減少や、未払法人税等131,000千円の増加、繰延税金負債102,834千円の減少などであります。

（純資産）

純資産合計は8,038,794千円（前事業年度末比73,952千円増）となりました。

主な要因は利益剰余金53,992千円の増加や、土地再評価差額金21,604千円の増加などであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ118,748千円増加し、1,103,319千円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業収入2,765,902千円、原材料又は商品の仕入れによる支出959,935千円、人件費の支出754,333千円、その他の営業支出668,452千円などにより営業活動によるキャッシュ・フローは370,998千円の収入（前年同期は9,826千円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出20,868千円や無形固定資産の取得による支出3,360千円により投資活動によるキャッシュ・フローは23,028千円の支出（前年同期比18,042千円の支出増加）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金の純支出200,000千円や配当金の支払額28,631千円などにより財務活動によるキャッシュ・フローは229,221千円の支出（前年同期比200,376千円の支出増加）となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想につきましては、第３四半期以降にホテルの価値向上と競争力の強化・保持のための一部施設の改善と補強の設備投資を予定しており、加えて欧州ユーロ圏諸国の経済情勢等の不透明さもあることから、現時点においては、平成24年４月５日に公表しました「平成24年11月期 第１四半期決算短信[日本基準](非連結)」から変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前事業年度末以降の経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月２日に公布され、平成24年４月１日以後に開始する事業年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実行税率は、従来の40.6％から、平成24年12月１日に開始する事業年度から平成26年12月１日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については38.0％に、平成27年12月１日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.6％となります。

この税率変更により、再評価に係る繰延税金負債が21,604千円減少し、土地再評価差額金が同額増加しております。また、繰延税金負債の金額（繰延税金資産の金額を控除した金額）が10,448千円減少し、その他有価証券評価差額金が373千円減少し、法人税等調整額（貸方）が10,822千円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年11月30日）	当第２四半期会計期間 （平成24年５月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	984,571	1,103,319
売掛金	222,682	196,893
原材料及び貯蔵品	75,873	75,063
繰延税金資産	53,183	36,007
その他	34,923	25,200
貸倒引当金	△380	△330
流動資産合計	1,370,854	1,436,154
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,128,305	9,128,305
減価償却累計額	△3,327,720	△3,415,087
建物（純額）	5,800,585	5,713,218
土地	2,975,845	2,975,845
その他	6,577,138	6,586,898
減価償却累計額	△5,785,671	△5,907,079
その他（純額）	791,467	679,819
建設仮勘定	－	12,075
有形固定資産合計	9,567,898	9,380,958
無形固定資産	54,640	55,598
投資その他の資産	163,499	160,270
固定資産合計	9,786,038	9,596,826
資産合計	11,156,892	11,032,981
負債の部		
流動負債		
買掛金	355,448	332,309
短期借入金	400,000	200,000
未払法人税等	11,500	142,500
未払賞与	68,700	88,400
前受金	173,611	170,992
ポイント引当金	2,388	2,224
災害損失引当金	23,506	23,506
その他	257,283	224,993
流動負債合計	1,292,437	1,184,926
固定負債		
退職給付引当金	654,791	691,061
役員退職慰労引当金	121,705	125,505
繰延税金負債	163,581	60,746
再評価に係る繰延税金負債	668,704	647,099
その他	290,830	284,848
固定負債合計	1,899,612	1,809,259
負債合計	3,192,050	2,994,186

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年11月30日）	当第２四半期会計期間 （平成24年５月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	741,384	795,377
自己株式	△23,044	△23,485
株主資本合計	7,536,350	7,589,902
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,606	△4,810
土地再評価差額金	432,098	453,703
評価・換算差額等合計	428,491	448,892
純資産合計	7,964,842	8,038,794
負債純資産合計	11,156,892	11,032,981

(2)【四半期損益計算書】
【第２四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年12月１日 至　平成23年５月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）
売上高	2,234,595	2,693,910
売上原価	750,623	892,595
売上総利益	1,483,971	1,801,315
販売費及び一般管理費	1,615,721	1,673,126
営業利益又は営業損失（△）	△131,749	128,188
営業外収益		
受取利息	45	84
受取配当金	1,217	1,217
受取保険金	867	384
その他	1,127	418
営業外収益合計	3,257	2,104
営業外費用		
支払利息	2,668	1,469
その他	50	148
営業外費用合計	2,718	1,617
経常利益又は経常損失（△）	△131,210	128,675
特別損失		
災害による損失	16,160	－
その他	1,860	－
特別損失合計	18,020	－
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△149,230	128,675
法人税、住民税及び事業税	1,894	131,097
法人税等調整額	△61,574	△85,464
法人税等合計	△59,680	45,632
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△89,550	83,042

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年12月１日 至　平成23年５月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年12月１日 至　平成24年５月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	2,347,714	2,765,902
原材料又は商品の仕入れによる支出	△878,324	△959,935
人件費の支出	△806,838	△754,333
その他の営業支出	△659,784	△668,452
小計	2,766	383,181
利息及び配当金の受取額	1,262	1,302
利息の支払額	△1,436	△1,354
法人税等の支払額	△12,419	△11,439
災害損失の支払額	－	△690
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,826	370,998
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,669	△20,868
無形固定資産の取得による支出	－	△3,360
その他	6,683	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,986	△23,028
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	40,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△240,000
配当金の支払額	△29,061	△28,631
その他	216	△589
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,844	△229,221
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△43,657	118,748
現金及び現金同等物の期首残高	660,494	984,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	616,836	1,103,319

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期累計期間(自　平成22年12月１日　至　平成23年５月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額（注）
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,206,219	28,375	2,234,595	－	2,234,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,206,219	28,375	2,234,595	－	2,234,595
セグメント利益又は損失（△）	△144,545	12,795	△131,749	－	△131,749

（注）　セグメント利益又は損失（△）は、四半期損益計算書の営業損失（△）と一致しております。

Ⅱ　当第２四半期累計期間(自　平成23年12月１日　至　平成24年５月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額（注）
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,668,388	25,522	2,693,910	－	2,693,910
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	2,668,388	25,522	2,693,910	－	2,693,910
セグメント利益	118,191	9,997	128,188	－	128,188

（注）　セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。